自　平成30年4月　1日
至　平成31年3月31日

平成30年度社会福祉法人愛伸会

事　業　報　告　書

平成30年度　社会福祉法人愛伸会事業報告

1. 事業の状況

①　各事業の目標達成

今年度の介護報酬改定については、全体としてはプラス改定であったが、通所介護においては、所要時間数が1時間ごとに改定されたため実質マイナス改定となった。

入所については、元気に過ごされた利用者が多く、空きベットが少なかったことから短期入所を合わせ全体で19，245人が利用し目標を達成した。

通所介護は他事業所等への情報の発信等の活動により、利用人数を大幅に増やしたため延べ人数は、7,402人となり目標を達成した。

また、居宅介護支援は、年間利用者は延1,351人とし、前年を上回り目標を達成した。

全体として各事業が目標を達成し、前年に比べ増益となったことから安定した経営ができた。

②財産管理の状況

今年度積立金として30,000千円を計上した。

③社会福祉充実計画の状況

充実計画2年目として、利用者の快適な場所の提供、職員の働きやすい環境づくりを重点に実施した。

経年により故障がちの備品の更新について、特養特殊浴槽は介護職員全員からアンケートをとり、入所者に安全で快適な入浴を提供できるよう、また職員の負担が軽減され介助し易い機種を実際に使用している施設へ見学して決定した。

エアコンについては、食堂、ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ脱衣室会議室、医務室及び介護職員室のものを更新し、例年にない猛暑日が続いた夏の熱中症対策として備えた。

また、全館LED化を行うことにより、従来より明るく同時に省エネ対策としても有意義であった。

その他、洗濯室の乾燥機、厨房のコンベンションオーブンや消防通報装置も更新した。

職員育成については、外部研修の参加費、職員全員参加の施設内研修の講師料を施設が負担し、福利厚生としては親睦会への補助等を行った。

2か年度の社会福祉充実事業費は、総額1,870万円とした。

2. 重点実施事項の状況

①　改正福祉法に合致した理事会・評議員会の運営

変更後の法人定款に従って、適切な法人運営を行うため「定款施行細則」を制定し、法人の運営管理及び業務について明確にした。

②　地域における公益的な取組

・　生計困難者に対する相談事業として「ライフサポート事業」を行った。

コミュニティーソーシャルﾜｰｶｰが担当する総合相談や、援助の必要性のある方に対しては、他のサービスに繋がるまでの経済的援助をした。

・　「町の地域包括ケアシステム」の構築に向けては、「厚愛地区医療福祉連絡協議会」や「愛川町高齢者生活支援サービスの体制整備に向けた協議体会議」「愛川町在宅医療

介護連携推進協議会」にそれぞれ職員が出席し、体制の整備やネットワークづくりに参画した。

③ 人材育成(職員研修の充実)

職員育成に活かすため、全職員対象に施設長との面談を行った。内容については、職員から今の業務の状況と今後どのような能力を高めたいかまた、施設長からは各職員に期待することを伝え両者で今後どのようにしていくか話し合いをした。

また、平成30年度キャリアパス研修として、職員が受講したい研修をアンケートにより募り、「支援に生かすコミュニケーション」を、外部講師を迎え全職員参加のもと実施した。

④ より実態に即すように防災計画や防災マニュアルを見直し、非常時に備える。

施設の防火・防災上の課題について町消防から助言・指導を受け、防火・防災管理者が主になり「防火・防災会議」で助言等を踏まえて検討し、実情に合った防災訓練を実施した。
また、2階・3階の夜勤者が迅速に連絡できるようホーム所有の携帯電話の使用方法や停電時の対応について検討し、実施した。
緊急時の備えとしては、愛川町消防による「愛川BLS研修」を実施し、職員全員が心肺蘇生法を含めて利用者の急変時に対する応急手当てが出来るよう学んだ。

3. 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催日・出席人数	内　　容
(1) 平成30年6月 8日 出席理事 6/6名 出席監事 2/2名	① 第 1号議案 平成29年度社会福祉法人愛伸会事業報告について ② 第 2号議案 平成29年度社会福祉法人愛伸会決算報告について ③ 報 告 法人監事による監査結果報告 ④ 第 3号議案 第1回社会福祉法人愛伸会評議員会の開催について
(2) 平成30年11月27日 出席理事 6/6名 出席監事 2/2名	① 第 4号議案 理事長の選定について ② 第 5号議案 社会福祉法人愛伸会志田山ホーム職員給与規程の一部改正について
(3) 平成31年1月25日 出席理事 6/6名 出席監事 2/2名	① 平成30年度に実施した県の指導監査結果について

(1) 理事会

開催日・出席人数	内　　容
(4) 平成31年3月20日 出席理事　6/6名 出席監事　2/2名	① 第 6号議案　平成30年度社会福祉法人愛伸会第1次補正予算(案)について ② 第 7号議案　平成31年度社会福祉法人愛伸会事業計画(案)について ③ 第 8号議案　平成31年度社会福祉法人愛伸会予算(案)について ④ 第 9号議案　社会福祉法人愛伸会評議員会の開催について

(2) 評議会

開催日・出席人数	内　　容
(1) 平成30年 6月25日 出席評議員　7/7名 出席監事　2/2名 理事長	① 第 1号議案　平成29年度社会福祉法人愛伸会事業報告について ② 第2号議案　平成29年度社会福祉法人愛伸会決算報告について ③ 報告　法人監査による監査結果報告
(2) 平成31年 3月28日 出席評議員　7/7名 理事長	① 第 3号議案　平成30年度社会福祉法人愛伸会第1次補正予算(案)について ② 第 4号議案　平成31年度社会福祉法人愛伸会事業計画(案)について ③ 第 5号議案　平成31年度社会福祉法人愛伸会予算(案)について ④ 平成30年度に実施した県の指導監査結果について

4.行事開催及び地域等の交流状況

月.日	内　　容	参　加　者						計
		家族	地域住民	ボランティア	入所者	ショート利用者	デイ利用者	
4.04	お花見ドライブ				5			5
12	誕生会				40			40
17	半僧坊参拝				2			2
24	クッキングクラブ（草団子）				10			10
5.9	春の遠足				8			8
14	田名忠太郎演芸会（舞踊・カラオケ）				28	2		30
20	高峰小学校運動会							0
6.1	誕生会				40			40
19	クッキングクラブ【白玉団子】				9	2		11
21	誕生会				40			40
7.01	三増区共に生きる社会作りの会				2			2
09	田名忠太郎演芸会（舞踊・カラオケ）				17	3		20
8.08	クッキングクラブ（クレープ、寒天）				10			10
09	誕生会				41			41
8.12	盆踊り大会	42	121	60	40		4	267
9.10	田名忠太郎演芸会（舞踊・カラオケ）				18	2		20
13	誕生会				45			45
18	敬老行事・雅琉舞踊会			8	18	4	27	57
27	朋子お姉さんのおこじゅうの時間				43			43
10.03	秋の遠足			1	9			10
11	誕生会				40			40
23	クッキングクラブ（スイートポテト）				10			10
11.08	誕生会				37			37
22	たまちゃんの焼き芋だよ				35			35
12.13	誕生会				40			40
25	クリスマス会				38	2		40
1.06	2019新春甘味まつり				40	3		43
09	クッキングクラブ（繭玉団子作り）				12	2		14
10	誕生会				37	3		40
2.03	節分・豆まき				37	3		40
14	誕生会				40			40
3.03	ひな祭り写真撮影会				8			8
14	誕生会				40			40
								0
合　　計		42	121	69	839	26	31	1,128

5. 職員研修状況

(1) 施設外研修

月.日	研　修　名	主　催／場　所	参加職種
4.4	防火・防災管理者研修	相模原市防災協会	防火・防災管理者
～4.5		コニコムプラザさがみはら	
21	福祉有償運送/セダン等運転者講習会	かながわ福祉移動サービスネットワーク	営繕・運転
～22		大和市保健福祉センター	
5.25	第1回介護施設との連携についての	愛川北部病院	相談員、看護師
	講話会		
29	接触・嚥下障害のリハビリテーション	神奈川総合リハビリテーション事業団	看護師
		神奈川リハビリテーション病院	
31	H30年度給食従事者講習会	厚木保健福祉事務所	管理栄養士
		厚木市保健福祉センター	
6.6	施設合同事故防止研修	4施設合同(ミノワ、せせらぎ、愛和の里、志田山ホーム)	相談員、介護職員、事務職員
		志田山ホーム	
16	摂食嚥下障害における病態と栄養	2018渡辺商事セミナー	管理栄養士
	管理	はまぎんホールヴィアマーレ	
7.3	かながわ高齢福祉研究大会	県社協	介護・他
		パシフィコ横浜	
4	地域包括ケアにおいて今後求められる	県介護支援専門員協会	居宅介護支援専門員
	介護支援専門員の役割	相模女子大学グリーンホール	
4	普通救命講習会	愛川町防火・防災協会	介護職員(特養・ﾃﾞｲ)
		愛川町消防庁舎3階	
18	事務職員研修会(会計基礎)	県高齢協	事務職員
		波止場会館	
26	在宅医療・介護連携研修	厚木市・愛川町・清川村	居宅介護支援専門員
		厚木市役所	
7.20	H30診療・介護報酬改定	訪問看護ステーション・グランシェル	居宅介護支援専門員
21	福祉有償運送/セダン等運転者講習会	NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク	営繕・運転
～22		海老名市総合福祉会館	
8.29	平成30年度介護技術研修会(新人)	高齢協厚木・愛甲地区	介護職員
	基本的な動作の介助方法	ミノワホーム	
8.30	嚥下食、実践セミナー	ニュートリー㈱	管理栄養士
		川崎市教育文化会館	
9.7	ノロウィルス・インフルエンザ感染症	県社協	介護職員、看護師
	対策	県社協会館	
9.13	賢く備える災害対策	神奈川県看護協会	看護師
		神奈川県総合医療会館	
9.21	褥瘡ケアに関する研究	愛川北部病院	看護師
26	平成30年度介護技術研修会(中堅)	高齢協厚木・愛甲地区	介護職員
		ミノワホーム	
10.2	H30年度給食従事者講習会	厚木保健福祉事務所	管理栄養士
		厚木合同庁舎	

(1) 施設外研修

月.日	研　修　名	主　催／場　所	参加職種
10.4	平成30年度第1回「終末期における在宅医療・介護連携研修会	神奈川県医師会 神奈川県総合医療会館	居宅介護支援専門員
10	排泄ケアの知識と実践	神奈川総合リハビリテーション事業団 神奈川リハビリテーション病院	介護職員
16	褥瘡予防セミナー	神奈川総合リハビリテーション事業団 神奈川リハビリテーション病院	看護師
11.13	どうなる日本　政治・経済 ここがポイント	かながわ高齢協 横浜ベイシェラトンホテル	施設長
11.21	支援困難リフレーミング研修	県介護支援専門員協会 海老名文化会館	居宅介護支援専門員
11.30	私たちも　おくりびと 施設での看取りに必要なこと	厚木・愛甲地区福祉施設連絡会 厚木市保健福祉センター	介護、看護、介護支援相談員
12.5	施設合同事故防止研修	4施設合同(ミノワ、せせらぎ、愛和の里、志田山ホーム) ミノワホーム	相談員、介護職員、事務職員
1.11	平成30年度　高齢者の摂食嚥下障害支援研修	県立保健福祉大学 県立保健福祉大学実践教育センター	管理栄養士
1.15	口の終い方	厚木歯科医師会 厚木市保健福祉センター	居宅介護支援専門員
1.13	医療福祉連携研修	厚木歯科医師会 厚木福祉会館	居宅介護支援専門員
1.30	APC(人生会議)	神奈川臨床倫理カンファレンス 東海大学伊勢原キャンパス	居宅介護支援専門員
1.30	生活相談員等研修会	県高齢協 県社会福祉会館	相談員
2.6	福祉車両安全運転講習会	(一社)日本福祉車両協会	運転
8	「VR(バーチャルリアリティー)体験、認知症のリアル」	高齢協・厚木愛甲地区 神奈川工科大学	介護、看護、デイ相談員
12 14	事務職員決算研修会	県高齢協 万国橋会議センター	事務職員
15	栄養士等研修会	県高齢協 あっとビジネスセンター	管理栄養士
2.27	高齢者施設等における利用者の意思を介護職はどう支えるか	県高齢協 県社会福祉会館	看護師
2.28	いっしょに作ろう！自立支援 リハ職とケアマネジャーの顔の見える関係づくり	神奈リハ支援センター、医療福祉連絡会 厚木ケアマネ部会	居宅介護支援専門員
2.28	高齢者の権利擁護に関する研修	県社会福祉事業団 県総合医療会館	相談員
3.10	平成30年度第2回多職種研修会	厚愛地区医療介護連携会議 厚木商工会議所	居宅介護支援専門員
3.15	高齢者施設等における介護職の為の医療知識	県高齢協 県社会福祉会館	介護職員

(2) 施設内研修

月.日	研　修　名	内　容	参加人数
4.11	経口維持(栄養マネジメント)	経口維持計画検討見直し	6
5.16	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	5

月.日	研　修　名	内　容	参加人数
23	感染症・食中毒対策①	食中毒対策	4
6.13	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	5
20	褥瘡予防委員会①	褥瘡発生予防や褥瘡悪化を防止する	6
7.11	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	6
8.01	褥瘡予防委員会②	褥瘡発生予防や褥瘡悪化を防止する	6
15	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	7
9.12	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	6
10.16	接遇について	「接遇とは」ラポール三枝施設長の講演	31
17	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	7
19	愛川BLS研修(10/19.26)	愛川町消防による心肺蘇生法他	52
10.24	感染症・食中毒対策②	インフルエンザ・ノロウィルス対策	6
11.14	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	6
12.19	感染症・食中毒対策③	感染症全般について	8
1.16	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	5
2.13	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	7
3.12	支援に生かすコミュニケーション	H30年度全職員キャリアパス研修	39
13	権利擁護・経口維持	高リスク者モニタリング・経口維持計画検討見直し	7

6. 会議等の開催

(1) 施設内

会　議　名	回数	内　容	年間回数(参加職員)
① 職員会議	3/年	施設運営に関すること、報告事項他	3回　全職員
② 施設運営会議	1/月	各部署からの提案事項、報告事項	12 回　施・各部署代表者
③ 介護職会議	1/月	入所者の処遇、研修報告他	12 回　施設長・介護職員
④ ケース会議	2/月	入所ｻｰﾋﾞｽ計画・カンファレンス(54名分)	38回　施・ｹｱﾏﾈ・介・看・栄
⑤ 月別行事担当者会議	1/月	月間行事の立案・実施計画	12 回　介・相・看・栄・ﾃﾞｲ
⑥ 盆踊り実行委員会	3/年	盆踊り大会の計画・実施に向けた準備他	3 回　施・各部署代表者
⑦ 入退所検討委員会	1/月	入退所希望者の検討	16 回(内臨時 4回を含む) 施・町社協・介・相・看・栄 居宅

(2) 各種委員会・会議

会　議　名	回数	内　容	年間回数(参加職員)
⑧ 褥瘡・感染症予防委員会	随時	褥瘡・感染症防止対策	2 回　介・看・栄・相
⑨ 権利擁護委員会	〃	介護事故・虐待・身体拘束防止	11回　介・看・相
⑩ 事故対策検討委員会	〃	介護事故の分析及び防止対策	37回　介・看・相
⑪ 排泄係会議	〃	入所者の排泄に関すること	7回　介・看・相
⑫ 入浴係会議	〃	入所者の入浴に関すること	13回　介・看・栄・相
⑬ 食事係会議	1/月	入所者の食事に関すること	2回　介・看・栄・相
⑭ ﾘﾊ・ﾚｸ会議	1/月	ﾘﾊ・ﾚｸの立案・実施及び個別ﾘﾊ計画	12回　介・看・相
⑮ 給食委員会	1/月	食事について給食業者との話合い	12回　施・各部署代表者
⑯ 利用者懇談会	2/年	入所者との意見交換会	2回　施・介・看・相

＊施・・・施設長　介・・・介護職員　看・・・看護職員　栄・・・管理栄養士　相・・・生活相談員　ﾃﾞｲ・・・デイサービス職員

(3) 外部諸会議等

会　議　名	内　容	年間回数(参加職員)
① 県高齢協　厚木・愛川地区　施設長会議	地区内の施設長の情報交換等	2回　(施設長)
② 〃　実行委員会	地区職員研修等の実施	5回　(介護職員)
③ 愛川町社会福祉法人等代表者会議	愛川町社福法人等代表者情報交換	2回　(施設長)
④ 厚愛地区医療介護連携会議	地域包括ケアシステムの構築	12回　(施設長)
⑤ 愛川町介護認定審査会	要介護の2次判定	12 回　(生活相談員)
⑥ 訪問給食サービス担当者会議	献立の内容調整	2 回　(管理栄養士)
⑦ かながわ高齢者福祉研究大会「事例発表」	乾燥から肌を守るスキンケアの発表	1回　(介護職員)
⑧ 明日楓会連絡協議会	愛川高校生のボランティア活動	2回　(生活相談員)

7. 職員健康診断等

月.日	人　数	実施医療機関	検診項目
4.26	42人	愛川北部病院	定期健康診断 身長・体重・視力・血圧・胸部x-p・心電図・尿検査(糖・蛋白)血液検査(貧血・肝機能・血中脂質・血糖)検便(便潜血)HBs抗原・抗体検査
5.12	39人	愛川北部病院	ストレスチェック
10.30	15人 (夜勤業務者対象)	愛川北部病院	身長・体重・視力・血圧・胸部x-p・心電図・尿検査(糖・蛋白)
11.14	45人	石井医院	インフルエンザワクチン接種

8. 防災訓練等

月.日	内　容	
4.03	消防設備点検	相日防災(株)
6.01	消防指導	町消防課を招いて、当ホーム防火・防災上の課題について助言・指導
7.18	防火・防災会議	6/1消防からの指導について、　9/5防災訓練について
9.05	防災訓練①	地震想定
10.10	防火・防災会議	11/7 防災訓練について
11	消防設備等点検	相日防災(株)
19	BLS講習時の防災講話	火災全般と10分間の基本行動について
26	BLS講習時の防災講話	火災全般と10分間の基本行動について
11.07	防災訓練②	夜間想定、10分間の基本行動
2.06	防火・防災会議	3/6防災訓練について
3.06	防災訓練	消火機器取扱い訓練

9. 実習生等の受入

学校・団体名	期　間	延人数
町社協　高校生生ボランティア体験学習	8/7(9名)・8(5名)・9(5名)(最終日の1日のみ)	19
中学生職場体験学習　(2名)	11/7～9　3日間	6
津久井高校　介護1年生(2期)　(2名)	9/11～14	8
津久井高校　介護1年生(3期)　(2名)	11/5～9	10
合　計		43

10. 介護相談員及び継続的ボランティア活動

種　類	回　数	年間延人数
介護相談員の活動　(2名)	4	8
習字クラブ　講師　(1名)	22	22
シーツ交換　個人	83	83
傾聴ボランティア　なごみ	12	22
車椅子修理　あシボ	5	30
介護(個人)　(2名)	139	139
合　計	265	304

【1】 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

1. 支援目標に対しての実施状況

① 利用状況

特別養護老人ホームの年間延利用人数は18,040人で、利用率は98.6%であった。
(前年度17,823人　利用率97.7%)

短期入所生活介護の年間延利用人数は1,092人で、利用率は99.7%であった。
また、空床利用の短期入所については、213床中113床利用され、併設と空床のと利用合計は1,205人であった。(前年度1,373人空床利用含む。)

入所サービス全体では、19, 245人(99.4%)であり、目標の19,151人を達成できた。
(前年度　19,196人　99.2%)

---

② 介護全体

a.原因不明の外傷報告については、事故防止委員会と連携し、原因の特定や傾向を絞り予防する。

・ 介護職会議において最近の外傷報告から数件を抽出、原因の推定と予防策を検討した。

4月:抗血栓薬服用者リストを全員に配布、各階介護室に掲示、注意喚起を行った。
その内、4名の高リスク者と3名の外傷報告につき検討した。

5月:6件の外傷報告を検討。　　8月:5件の外傷報告を検討した。

・10月以降介護職会議の中では、研修や研修報告に時間をかけた結果、外傷報告の検討が出来なかった。今後は、委員会活動で検討していきたい。

---

③ 食　事

a.食事環境・口腔ケアの検討を行い、食事形態は管理栄養士、看護師と連携する会議を開催する。

・食事形態の検討、変更は、随時早急に対応でき、係が不在時の際も報告、引継ぎが行えた。

b.配膳室清掃、おしぼり漂白、ショート食事チェック表の制作

・配膳室の清掃は、流し場を中心に三角コーナーなど、月1回以上行い、冷蔵庫内の清掃、整頓を行った。チェック表も制作し、おしぼりタオルは4月、1月、顔拭きタオルは8月に交換。

・歯ブラシは歯科衛生士のアドバイスを受けて6月、1月に交換した。舌の汚れにも着目し、舌ブラシの対象者を選んで、2名の利用者のケアを行った。

・11月には食品業者による嚥下勉強会を開き、利用者の立場に立つ体験ができた。

---

④ 入　浴

a.利用者個々の状態にあった入浴形態で、安全でプライバシーを保った快適な入浴環境を提供する。

・利用者17名について入浴形態を検討した。
肌経過6件、居室変更による1件、体調変化による3件、座位保持困難による4件
新規入所2件、状態変化による1件、特浴・中間浴の人数調整5件

・リフト浴のクッションを購入、入浴フェイスタオル、おしもタオル及びシャワーヘッドの交換により、入浴の快適性を向上させた。

b.利用者の皮膚トラブルを改善する。

・両上肢、下肢の乾燥肌に対して保湿剤を使用して経過を観察した。
保湿剤は、ローションタイプを使用し、H30年2月から上半期までは順調に効果があらわれ、肌の理想状態としたレベル1の軽微な乾燥まで改善された。5月から3か月毎に肌の状態を観察し、新規2名の利用者の方も8月から保湿剤を使用し改善が見られた。
しかし、11月の観察では肌乾燥レベルが悪化する傾向が見られ、寒期に入り暖房と空気の乾燥が影響したと推察される。今後は冬季の乾燥についての対策を検討していく。

⑤ 排　泄

a.利用者個々に適切な排泄介助の検討を行い、安心、安全な排泄環境を提供する。

・排泄会議を開催し、排泄アセスメント用紙をもとに、排泄環境の見直しを行った。
6月：9名、7月：12名、12月：9名。また、新規利用者11名には随時会議を開催した。

b.施設内研修を行い、職員の排泄に関する知識・技術の向上を図る。

・12月に「排出ケアの知識と実践」の基礎について、説明と事例を交えた意見交換を行い職員間で知識を共有した。

---

⑥ 機能訓練(リハビリ・レクリエーション)

a.利用者個々に合ったリハビリ・レクリエーションメニューを検討し実施するとともに、ADL及びQOLの維持向上を図る。

・個々に合ったリハビリメニューを検討し、リハビリチェック表の見直しを2か月毎に行った。

・レクリエーションは、2か月ごとに予定を立て、季節に合ったものを考慮し、春と秋は散策を行い利用者の好評を得た。

・ベット生活者のリハビリは、医務との連携で居室でダンベル体操を行った。

---

⑦ 環境整備

a.居室、廊下やフロアまた利用者の車椅子の清潔保持を徹底し、利用者にとって生活しやすい環境を作る。

・各フロアの整理、掃除を週2回以上行った。

・全37台の車椅子に対して、月平均6台を洗車した。
また、全5台のリクライニング車椅子は、半年に一度清掃を行った。

---

⑧ 甘辛クラブ(日曜日の活動・・・・・壁画作り・コーヒー喫茶)

a.毎週第1、2日曜日を作品作り、第3、4、5日曜日はコーヒークラブとして、多くの利用者に参加して頂く。

・月平均参加人数は、半数を超えているが、回数については職員不足や前倒し入浴による中止が10回あり、目標を到達できなかった。

b.作品作りを楽しんで頂けるように作業の幅を増やす。

・上半期は、お花紙を使い、利用者に無理なく楽しみながら制作頂けた。9月は、志田山バイキングとして新聞広告の切り抜きを利用し、12月は、クリスマスプレゼント用靴下をツリーのように飾った。1階ロビーの展示は、多くの利用者やご家族に見て頂けた。

---

⑨ 生活相談・介護サービス計画等

a.利用者の事故防止をケアマネジメントの中に落とし込み、生活全般から本人の要望と事故防止とを連動させる。

・アセスメントの充実、事故防止意識の浸透、委員会活動の成果により、前年度に比べ事故が減少(84件→37件)、特に転倒・転落は、25件→11件

・本人と1対1の面談を増やし、特に事故頻発の利用者に対する十分な話し合いが事故防止だけではなく、生活全般の充実に繋がり効果的であった。

b.利用者懇談会や家族会との意見交換を通し、利用者や家族の要望を取り入れた生活環境を作る。

・外出、外食の要望が多く、同じり利用者が複数回参加することがあったが、各部署協議のもと、その方のニーズを満たす一助となるよう支援した。

c.外出行事を継続する。

・介護職員不足の中、予定通り実施できた。

⑩ 健康管理

a.インフルエンザ、ノロウィルス、尿路感染などを予防する。

・インフルエンザの感染者は、3月に4名の利用者が、また3名の職員が発症した。
初の罹患者は、徘徊が多く、特に人の出入りが多い1階フロアと食堂を行き来することが多く、感染が広がったと思われるが症状は軽かった。今回は、予防接種の効果が薄れてしまう時期での発症であった。施設内にウイルスを持ち込まない対策をとっているが、外来者からの感染を防ぐための対策になお一層努めていきたい。

・ノロウイルスの発症は、なかった。

・尿路感染の発症は、4名であった。
発症時は、抗生剤を内服して治癒するが、繰り返し起こることから、慢性化しているものと判断された。水分補給、オムツ交換時の洗浄など対策した。

b.看取り希望されている利用者に、安全、安心して最期を迎えて頂けるケアを行う。

・老衰3名、脳梗塞1名、腸管出血1名計5名の方を看取らせて頂いた。状態が急変した時には、家族への連絡を適切に行い、見守られながら最後を迎えられ、家族にとっても穏やかに看取ることができた。

---

⑪ 食事・栄養管理

a.経口維持計画を見直し、嚥下機能に沿った食事形態、口腔ケア、環境を他職種と連携して整えていく。

・月初の体重測定値、水曜日の水のみテスト(経口維時計画対象者)、昼食時のミールラウンド、食事摂取量の確認を行ないながら、見直しを行なった。
ア)月に1度スクーリング、アセスメントを実施し、栄養状態を把握した(10日前後)。
イ)栄養状態が低リスクの方は3か月ごと,中リスクの方は1か月ごと、高リスクの方は2週間ごとにモニタリングの実施、評価を行い栄養ケア計画の見直し、変更を3ヶ月ごと行った。
ウ)月2回(1回目は栄養士、2回目介護食事係)経口維持計画会議を行い食事形態や食事介助方法、食事環境を多職種と話し合い、経口維持計画、栄養ケア計画に反映した。

b.給食会議・厨房会議・経口維持計画会議を継続し、他職種や給食委託先との連携を図る。

・給食委託会社との連携を図るため、献立の検討、食事の入れ間違や食器等の付け忘れ等、厨房会議で検討した。検食指摘事項の検討、厨房会議の書記を厨房社員に依頼、会議録は本社に送り改善報告書の提出と給食会議での報告を依頼した。

c.食事形態に応じた非常食への移行、緊急時誰でも対応出来るよう保管場所や掲示方法の見直しを継続する。

・非常食の献立見直し、商品の入れ替えは31年度に継続する。
5年保存水を1日分準備(1.5ℓ/日　120人分)。夜間非常事態を想定し、2・3階配膳室、デイルームに保管した。

d.行事食の継続、クッキングクラブ(特養)を開催し、作って食べる楽しみを提供する。

・誕生会料理、選択食、郷土料理を月1回実施したほか、行事食、おやつ作りは次の通りで掲示板に翌月の行事食や献立を掲示した。
また、月末に志田山入所者、デイ利用者におやつバイキングを開催した。

4月	お花見弁当	草団子作り		
5月	節句料理	母の日献立		
6月	白玉団子			
7月	七夕献立	土用の日献立		
8月	夏祭り模擬店	クレープ・白玉あんみつ作り		
9月	防災訓練(非常食)	お彼岸(おはぎ)	敬老の日祝い膳	
10月	スイートポテト作り			
12月	誕生会献立	冬至献立	クリスマス献立	年越しそば
1月	お正月祝い膳	七草粥	繭玉風団子作り	
2月	節分料理			
3月	ひな祭り料理	お彼岸春分の日(ぼたもち)	開園記念献立	

2. 入所者の状況（平成31年3月31日現在）

(1) 入所者数

入所定員　50人	入所者数		49
	入所者のうち	① やむを得ない措置による入所者	
		上記のうち高齢者虐待によるもの	
		② 生活保護被保険者数	5
		③ 身元保証人のいない者の数	
		④ 成年後見制度利用者数	4
		⑤ 他の医療機関等への入院数	

(2) 入所者の要介護別内訳

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男　性		1	3	4		8	3.38
女　性			6	14	21	41	4.37
計		1	9	18	21	49	4.02

(3) 月別入所者の内訳（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													
要介護2	60	62	60	31	31	30	31	30	31	31	28	31	456
要介護3	295	310	285	314	336	330	341	300	310	310	280	391	3,702
要介護4	561	574	553	527	527	496	527	513	557	549	520	558	6,431
要介護5	570	580	570	561	651	630	651	631	651	621	560	651	7,420
合計	1,486	1,526	1,468	1,433	1,545	1,486	1,550	1,477	1,549	1,511	1,388	1,531	18,040
利用率	99.1%	98.5%	97.9%	92.5%	99.7%	99.1%	100.0%	98.5%	99.9%	97.5%	99.1%	98.8%	98.6%

(4) 入所者の性別・年齢別内訳

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男性		1	2	2		3				8	78.9
女性			2	6	6	8	10	9		41	88.5
計											86.1

(5) 入所者の在所期間別内訳

	3月未満	3月以上6月未満	6月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	計
入所者数	5	5	7	8	4	8	4	9	0	49

(6) 入所者の住所地（保険者）別内訳

市町村名	愛川町	北海道小清水町	厚木市	横浜市	計
入所者	46	1	2	1	49

(7) 入所者の入所前の生活状況(居所)別内訳

入所前の居所	人数	入所前の居所	人数
在宅(家庭)	20	病院(診療所)	5
養護老人ホーム		サービス付高齢者住宅	1
認知症高齢者グループホーム	1		
介護老人保健施設	22		
介護療養型医療施設		計	49

(8) 入所者の待機期間別内訳

	3月未満	3月以上6月未満	6月以上1年未満	1年以上1年6月未満	1年6月以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	合計
入所者数	10	11	12	7	1	2	6	49

a 日常生活自立度

	不明	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
要介護1											
要介護2							1				1
要介護3						2	4	3			9
要介護4						1	2	12	1	2	18
要介護5						1		9	2	9	21
合　計						4	7	24	3	11	49

b 認知症の日常生活自立度

	なし	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	計
要介護1									
要介護2			1						1
要介護3		3	4	1	1	1			10
要介護4			5	1	8		3		17
要介護5			4		4	1	11	1	21
合　計		3	14	2	13	2	14	1	49

c 移動の状況

移動		人数	%
歩行	自立	0	0.0%
	一部介助	4	8.2%
	全部介助	0	0.0%
車椅子	自立	7	14.3%
	一部介助	24	48.9%
	全部介助	14	28.6%
合　計		49	100%

d 食事の状況

区分	人数	%	食事場所		
			食堂	居室	計
自立	21	43.0%	20	1	21
一部介助	15	30.0%	13	2	15
全部介助	12	25.0%	5	7	12
経管栄養(胃ろう)	1	2.0%	0	1	1
合　計	49	100.0%	38	11	49

e 排泄等の対応状況(おむつ・体位交換実施状況)

区分		人数	平均実施回数		延人数
おむつなし	常時				
	トイレ誘導者	11	6 回	実施間隔 4～5 時間毎	66
おむつ	常時	22	6 回	実施間隔 4～5 時間毎	132
	夜間のみ	14	3 回	実施間隔 3～4 時間毎 ・夜間時間帯 19時00分～ 4時00分	42
おむつ装着トイレ誘導者		2	6 回	実施間隔 3～5 時間毎	12
計		49		計	252
体位交換	褥瘡者	1	12 回	実施間隔 2～4 時間毎	12
	その他	32	12 回	実施間隔 2～3 時間毎	384
	計	33		計	396

f 入浴実施状況

		曜日	人数	時間帯
小風呂(家庭用浴槽)	男性	火・金	0	15 時 00 分 ～ 15 時 30 分
	女性	月・木	0	14 時 30 分 ～ 14 時 40 分
一般浴	男性	火・金	1	10 時 30 分 ～ 10 時 50 分
	女性	水・土	3	9 時 45 分 ～ 10 時 30 分
中間浴(車椅子入浴装置)	男性	火・金	1	13 時 50 分 ～ 14 時 20 分
	女性	月・火・木・金	12	14 時 10 分 ～ 15 時 40 分
中間浴(リフト入浴装置)	男性	火・金	4	10 時 30 分 ～ 11 時 0 分
	女性	火・水・金・土	11	9 時 45 分 ～ 10 時 30 分
特別浴(昇降式浴槽装置)	男性	月・火・木・金	2	13 時 45 分 ～ 14 時 50 分
	女性	月・火・木・金	15	14 時 20 分 ～ 16 時 20 分
合計			49	

(10) 疾病別治療状況

疾病名	男	女	計
呼吸器疾患(気管支炎・肺気腫及び喘息)	1		1
高血圧症	6	18	24
糖尿病	2	5	7
貧血病	2	14	16
高脂血症	1	4	5
肝疾患	1		1
心疾患及び不整脈	11	2	13
皮膚炎	1	3	4
パーキンソン病		1	1
認知症(脳血管・アルツハイマー)・精神障害	4	18	22
脳血管障害	6	9	15
腎疾患(慢性腎臓病)		1	1
高尿酸血症	1		1
延人数	36	75	111
実人数	8	41	49

(11) 医療的処置の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経管栄養(胃ろう)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
点滴													
酸素療法													
カテーテル	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
疼痛に対する湿布	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
ﾌﾗﾝﾄﾞﾙﾃｰﾌﾟ貼布	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

(12) 看取り介護の状況

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
看取り介護対象入所者数	30	31	31	32	32	32	33	32	33	32	33	32	383	32
うち看取り数	1	1						1		1		1	5	

(13) 受診状況

区　　分	科　　別	年間受診者数	備　　考
施設内診療	内科(毎水曜日)	1,240	
	精神科(月2回)	144	
	歯科(毎金曜日)	190	
外部医療機関診療	外科・整形	56	
	循環器内科	5	
	神経内科	6	
	皮膚科	17	
	眼科	18	
	耳鼻科	1	
延人数		1,677	

(14) 入院状況

区　　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	男		1	1										2
	女				1		1				1			3
	計		1	1	1		1				1			5

(15) 定期健康診断状況及び予防接種の状況

月.日	人数	実施期間	検　診　項　目
定期健康診断 8.01～31	50	石井医院	身長・体重・視力・血圧・胸部x-p・心電図・尿検査(糖・蛋白)
			血液検査(貧血・肝機能・血中脂質・血糖)
			〃　(男性のみ　前立腺癌)
10.24 10.31	50	〃	インフルエンザワクチン接種

(16) 給食状況

月	熱　量	蛋白質	脂質	カルシュウム	ビ　タ　ミ　ン				鉄
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	A(μg)	B1(mg)	B2(mg)	C(mg)	(mg)
4	1,367	58.2	41.2	638	710	0.89	1.08	106	7.8
5	1,411	58.8	43.4	655	701	0.88	1.07	115	7.6
6	1,415	59.7	43.6	675	791	0.90	1.12	117	7.9
7	1,372	55.2	41.8	637	715	0.86	1.06	114	7.9
8	1,361	56.9	41.4	650	672	0.85	1.05	109	7.5
9	1,394	58.4	41.8	655	698	0.88	1.10	118	8.1
10	1,363	57.4	40.2	662	682	0.84	1.07	111	7.8
11	1,385	57.3	40.3	658	683	0.86	1.06	112	7.8
12	1,392	57.3	42.0	648	618	0.87	1.06	107	8.1
1	1,387	58.0	39.7	649	660	0.79	1.06	105	7.7
2	1,369	55.8	40.3	639	579	0.82	1.03	108	7.4
3	1,389	56.9	41.4	649	603	0.86	1.04	103	11.2
合計	16,605	690	497	7,815	8,112	10	13	1,325	96.8
年間平均	1,384	57.5	41.4	651	676	0.86	1.07	110	8.1

(17) 食事形態及び療養食の状況(平成31年3月31日現在)

	常 食	軟飯	全 粥	粥ミキサーゼリー	常 菜	一口大	軟菜	ソフトA
主 食	11	17	11	7				
副 食					5	7	5	15

ソフトB	合計	高カロリー飲料	経管栄養	合計
14	46	2	1	49

(療養食)

貧血食	腎臓(減塩)	合計
12	4	16

(18) 月別入退所の内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男								1					1
	女	1	2				1					1		5
計		1	2				1		1			1		6
退所	男								1					1
	女	1	1				1				1		1	5
計		1	1				1		1		1		1	6

(19) 退所者の内訳

	死亡 (施設看取)	家庭復帰	長期入院	他施設	合計 (施設看取)	死亡原因
男	1 (1)					腸内出血、老衰、急性肺炎、脳梗塞
女	5 (4)					
計	6 (5)					

(20) 退所者の在所期間

	3月未満	3月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	合計
退所者数		1	1	1	1	1	1		6

(21) 年間面会状況

回数	1	2～4	5～10	11～20	21～30	31～40	41～60	61～100	101以上	合計
被面会者数	3	4	4	10	3	1	3	2	3	33

(22) 外出・外泊状況(家族引率)

回 数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	計
外出者人数	2		2				4
外泊者人数	1						1

(23) 入所者預り金の状況

入所現員	預り金人員	預り金総額	預り金平均額	最高額	最低額
49	47	29,503,280	627,729	7,646,878	5,434

(24) 月別個別加算(延人数)

月	各種加算名						
	経口維持(Ⅰ)	療養食	外泊時	初期	看取(前4～30)	看取(前2日)	看取(当日)
4	31	1,141		53	27	2	1
5	31	1,113	6	44	27	2	1
6	33	1,079	6	21			
7	33	1,115	2				
8	33	1,116		26			
9	35	1,078		14			
10	34	1,111		20			
11	35	1,271		3	27	2	1
12	35	1,576		27			
1	34	1,480	6		27	2	1
2	35	1,343		22			
3	37	1,488		8	27	2	1
合計	406	14,911	20	238	135	10	5

(25) 入所者の所得段階別内訳(人)

第1段階			第2段階	第3段階	第4段階	その他	合計
うち生活保護受給者	うち老齢福祉年金受給者	うち境界層非該当者					
5			11	24	9		49

(26) 身体・療育・精神障害手帳交付状況

	性別	重度		中度		軽度			合計
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	
肢体不自由	男	1	1						2
	女	2	3		1				6
療育手帳	男								
	女			1					1
合計		3	4	1	1				9

＊実人数　9人
(重複者　0人)

3.事故・ヒヤリハットの状況

(1) 月別

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	6	4	2	1	3	3	3	2	3	4	3	3	37
ヒヤリハット	1	0	4	2	0	2	6	1	1	3	0	2	22

(2) 発生状況

	転倒	転落	ずり落ち	誤嚥 誤飲 異食	誤薬	与薬忘れ	溺水	チューブ	外傷	加害行為	その他	合計
事故	5	6	9		1	1	1		10		4	37
ヒヤリハット			5	3			1				13	22

4. 家族会の活動(入所者)

月.日	内容	場　　所	参加人数
4.21	総会・意見交換会	会議室	12
8.11	「盆踊大会」への参加	屋外会場	42
9.17	家族会「意見交換会・敬老の日の集い」	会議室他	9

5. 苦情・相談の状況(入所者)

苦情件数	0 件	相談者
主な苦情内容		
対　　応		

6. 訪問給食(愛川町社協委託)調理食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
食　　数	193	235	199	221	180	184	ー	ー	ー	164	168	206	1,750

7. 短期入所生活介護

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1													
要支援2	3	1		6									10
要介護1	13	24	30	32	27	25	17	19	16	27	11	17	258
要介護2	26	14	25	20	16	25	15	10	16	24	28	37	256
要介護3	19	21	4	23	17	20	20	25	26	31	23	12	241
要介護4	13	18	19	12	16	3	21	17	19	11	11	15	175
要介護5	16	15	12	0	17	17	20	19	16	0	11	9	152
延人数	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	90	1,092
実人数	26	25	23	21	24	22	26	19	22	24	21	19	272
送迎加算	52	54	52	43	55	47	60	49	48	38	46	35	579

(2) 利用状況(空床利用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1													
要支援2													
要介護1													
要介護2		16						6	1				23
要介護3			15		5						4		24
要介護4	7			3		14				2			26
要介護5				22						18			40
延人数	7	16	15	25	5	14	0	6	1	20	4		113
実人数	1	1	2	4	1	3	0	1	1	4	1		19
送迎加算	4	2	8	15	2	8	0	4	1	15			59

(3) 利用状況(緊急利用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
緊急一時入所(認定外)													
緊急短期入所(要介護4)					5								5
延人数					5								5
実人数					1								1

(4) 加算・食事の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
加算　　送迎	56	55	55	58	57	55	60	53	49	53	46	34	631
食事　　朝	63	74	68	81	64	70	58	63	63	79	57	65	805
昼	96	108	105	115	98	103	93	96	94	111	86	85	1,190
夜	64	72	70	80	66	70	58	64	62	78	57	70	811

8. 入所待機者の状況(平成31年3月31日現在)

(1) 入所待機者の性別・年齢別内訳

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	不明	合 計
男性	1	2	5	5	3	3	3	2			24
女性			2	5	8	15	9	5	1		46
計											70

(2) 入所待機者待機期間

期間	3月未満	3月～6月	6月～1年	1年～1.5年	1.5年～2年	2年～3年	3年以上	措置入所	再入所	合 計
入所待機者数	8	5	15	5	4	5	28			70
医療処置の有無			1				6			7

(3) 入所待機者の生活状況(居所)及び住所地の内訳

待機場所	人 数	入所待機者の住所地	人 数
在宅(家 族)	17	愛川町	60
特別養護老人ホーム	3	厚木市	4
養護老人ホーム		相模原市	2
介護老人保健施設	31	座間市	1
介護療養型医療施設	8	海老名市	1
病院(診療所)	3	横浜市	
有料ホーム	2	川崎市	1
高齢者住宅		大和市	
〃 (小規模)		藤沢市	
グループホーム	4	東京都	1
デイサービス(宿泊)	2	鎌倉市	
不明		その他の県外	
計	70	計	70

(4) 入所待機者の要介護度

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合 計
男 性	1	3	10	7	2	1	24
女 性	3	4	13	19	7		46
計	4	7	23	26	9	1	70

【2】 デイサービスセンター（通所介護・介護予防通所介護）

1. 支援目標に対しての実施状況

① 利用状況

本年度の利用延人数は、7,402人で前年度に比べ362人多く目標の6,900人を達成した。（前年度7,040人）また平均月間登録者人数は、69.9人で目標76人に未達であった。上期は70人台であったが、下期は利用者の入院・入所等で70人を下回った。

②（全体） a. 利用者の満足度が向上するよう施設内外の研修に参加する。

・利用者懇談会やアンケートを実施し、利用者の意向などを聞くことができた。今後、利用者に満足して頂けるように会議などで改善していく。また、『接遇について』や『コミュニケーション』研修に参加し、職員の意識向上を図るための話を聞くことができた。

b. 利用者により良いサービスを行なうため居宅・地域包括支援センターと連携強化する。

・他居宅などと連携を図り利用者の状況が分かるよう情報を共有した。

c. 地域住民から信頼されるよう地域交流などを企画し実施する。

・介護者教室を開催したが、参加人数が少なかった。次年度については、事前にアンケートを取るなどして多くの人の参加を促す。また、地域交流については、サロンなどに参加できるよう企画していく。

③（入浴） a 利用者の身体観察を行ない皮膚疾患などを早期発見する。

・入浴時や着脱時に身体観察を行なうことにより、発赤や湿疹があった際には看護師と連携を図り、家族に連絡手帳で報告したり、送迎時に病院受診などを勧めた。

b 利用者の身体状況等を把握し、その人に合った入浴方法でゆったりと入浴できるようにする。

・利用者の身体機能や皮膚状態により、臨機応変に入浴方法の変更を行なえたほか、迎え時間も車の台数を増やすことにより早くなり、ゆったりと入浴時間が持てるようになった。

④（送迎） a. 迎え時間がある程度統一でき、利用者の身体状況に合った送迎をする。

・ある程度、決まった時間での送迎を行なうことができたが、一人暮らしで準備ができていない方の時間が遅くなることもあった。その際には次の利用者に電話で迎えの時間を連絡し待っていただいた。また送迎車両を増やしたことで、送迎時間が短縮され利用者の負担が軽減された。

b 安全な送迎が行なえるよう整備点検をし、快適に送迎できるようにする。

・安全運転管理者や運転手と連携を図り整備点検を行うことができた。

⑤（リハビリ・レクリエーション）

a. シナプソロジー等を取り入れ楽しみながらリハビリを行ない利用者の機能維持を図る。

・機能訓練指導員を中心に、運動(リハビリ等)を行ない機能維持に取り組むことができた。
今後も工夫していく必要があるので、リハビリメニュー等会議で検討していく。

b. 季節ごとのレクリエーションを考え、利用者が楽しく向上心を持って参加できるようにする。

・季節ごとにリハビリを目的とした外出などを行ない、利用者の意欲を向上させることができた。

⑥（各クラブ） a. 利用者が趣味として行なっていた活動などを行ない日常生活を活性化する。

・家ではさせてもらえなくなった調理などを、おやつ作りクラブで行ない活気ある活動ができた。
また、指先を動かす工作などの活動も実施した。今後は個人で行なえるメニューを増やしていきたい。

⑦（相談等） a.利用者、家族が在宅生活で抱えている不安などに対して担当ケアマネと連携して支援する。

・ケアマネや家族と情報を共有し、介護の悩みなどについてアドバイスすることができた。

2. 運 営 状 況

（1） 登録者及び利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
登録人数	73	74	71	71	70	71	73	69	66	68	67	66	839
〃 （うち新規）	2	3	1	1	2	2	3	0	0	3	3	1	21
〃 （ 終了）	1	3	1	1	3	4	3	5	2	3	2	5	33
実施日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
月間利用延人数	633	646	670	662	653	599	668	627	562	549	554	579	7,402
1日平均利用人数	25.3	23.9	25.8	25.5	24.2	24.0	24.7	24.1	22.5	22.9	23.1	22.3	24.0

(2) 介護度別利用者人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
要支援 1		8	10	8	8	9	11	9	9	8	8	8	8	104
要支援 2		28	25	26	20	15	14	9	9	7	15	23	21	212
要介護 1		188	208	199	219	201	206	204	167	165	164	150	169	2,240
要介護 2		185	182	207	191	195	183	198	160	139	164	179	178	2,161
要介護 3		111	109	119	131	118	114	122	183	165	144	131	127	1,574
要介護 4		82	89	93	72	80	73	91	84	68	37	47	62	878
要介護 5		31	19	22	21	16	17	24	19	17	17	16	14	233
合　計		633	642	674	662	634	618	657	631	569	549	554	579	7,402
加算	入浴(要介護のみ)	515	504	556	552	532	477	530	493	459	429	424	442	5,913
	栄養改善	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
	予防生活向上	6	6	5	5	4	5	3	3	3	4	5	5	54

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合　計
男　性	0	1	5	12	2	20
女　性	0	1	8	21	16	46
合　計	0	2	13	33	18	66

(4) 世帯状況別利用者人数 (平成31年3月31日現在)

	子供等の同居	高齢夫婦	一人暮らし	合　計
男　性	8	7	5	20
女　性	34	2	10	46
合　計	42	9	15	66

(5) 登録期間別利用者人数 (平成31年3月31日現在)

6月未満	6月～1年未	1年～2年未	2年～3年未	3年～5年未	5年～10年未	10年以上	合　計
9	5	15	10	15	9	3	66

(6) 登録終了者の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
他デイサービス	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5
入院・入所	0	2	0	0	3	4	3	4	1	3	1	4	25
死亡	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
利用者拒否	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	3	1	1	3	4	3	5	2	3	2	5	33

(7) 実施プログラムの内容

月	実　施　内　容		演芸会等(ボランティア)
4	ゲーム	ゲートボール的当てゲーム、記憶力ゲーム、牛乳パックタワーゲーム	千寿会
		箸落としゲーム、言葉遊びゲーム	音楽会
	リハビリ	散策	マイカイアロハフラダンス
	工作	貼り絵	
5	おやつ作り	草餅	音楽会
	ゲーム	お手玉投げゲーム、文字作りゲーム、都道府県クイズ、新聞紙棒抜きゲーム、	
		ビンゴゲーム、お手玉崩しゲーム	
	リハビリ	鯉のぼり散策、カラオケ、華道展散策	
	工　作	貼り絵	
6	ゲーム	魚釣りゲーム、得点王ゲーム、音楽ゲーム、お手玉的当てゲーム、ビンゴゲーム	千寿会
		言葉遊びゲーム	民謡懐メロ愛好会
			音楽会
	工　作	押し花教室、貼り絵、名札作り	遊々バンド
7	おやつ作り	プリンアラモード	フラダンス&管巻き
	ゲーム	金魚すくいゲーム、県名当てゲーム、卓球ゲーム、ポンポン紙コップゲーム	音楽会
	リハビリ	カラオケ	
	工　作	貼り絵	
8	ゲーム	あおいで落とせゲーム、言葉遊びゲーム、ぐらぐら傘玉入れゲーム、ビンゴゲーム	愛川町民謡協会
		ピンポンコロコロゲーム、豆つかみゲーム、クイズ、生産地当てゲーム	千寿会
	工　作	貼り絵	

月	実　施　内　容		演芸会等 (ボランティア)
9	おやつ作り	お好み焼き	敬老祝い行事
	ゲーム	億万長者ゲーム、スカットゴールゲーム、風船ゲーム	音楽会
		値段当てゲーム	愛琴会つつじ
	リハビリ	カラオケ	
	工　作	貼り絵	
10	リハビリ	大運動会、作品展散策、さつま芋掘り	千寿会
	ゲーム	言葉遊びゲーム、風船バスケットゲーム、音楽ゲーム	
		紙コップ釣りゲーム	
	工　作	貼り絵、文化祭展示工作(スノードーム)	
11	おやつ作り	さつま芋のきんつば	音楽会
	ゲーム	ハイアンドローゲーム、缶釣りゲーム、	フラダンス
		卓上ボウリングゲーム、クイズ、輪投げゲーム	
	リハビリ	カラオケ、作品展散策、菊展見学、紅葉狩り	
	工　作	貼り絵	
12	行　事	クリスマス会、忘年会	いろり座
	ゲーム	詰め放題ゲーム、一文字かえゲーム、的倒しゲーム	愛琴会つつじ
		ピンポンコロコロ障害物ゲーム	
	工　作	貼り絵	
1	おやつ作り	さつま芋入り蒸しケーキ	音楽会
	ゲーム	すき焼きゲーム、福笑いゲーム、キックボールゲーム	千寿会
		ペタンクゲーム	
	リハビリ	カラオケ	
	工　作	貼り絵	
2	ゲーム	並び替えゲーム、得点ゲートボールゲーム、鬼は外ゲーム	音楽会
		お手玉積みゲーム、クイズ	
	工　作	スタンプ布巾、貼り絵	
3	おやつ作り	五平餅	千寿会
	ゲーム	億万長者ゲーム、ビンゴゲーム、ボールコロコロゲーム	
		クラッカーでポーンゲーム、ボール的通しゲーム、歌当てゲーム	
	リハビリ	カラオケ、山十邸散策	

＊　介護予防等プログラム

①散歩　②滑車　③　おりがみ　④はり絵　⑤将棋・オセロ・トランプ

(8)　クラブ活動実施状況

クラブ活動名		実施回数	延人数	ボランティア延人数
①　習　字	(1/月)	12	296	12
②　ネイルクラブ	(1/月)	7	56	15
③　フラワーアレンジメント	(1/月)	12	239	19
④　園芸クラブ		16	42	0
合　　計		47	633	46

(9)　事故ヒヤリハットの状況

介護事故等	介護事故等				車　　両	
	転倒	転落	ずり落ち	与薬忘れ		
事　故	4		1		物　損	2
ヒヤリハット					人　身	
					ヒヤリハット	
計	4		1		計	2

(10)　介護者教室の開催状況

月.日	講師等	内　　容	参加人数
10.27	一條機能訓練士	相談の多い症状とツボ治療	2

(11) 苦情・相談等の状況

苦情件数	相談者	主　な　内　容	対　応
0 件	—	—	—

(12) 会議・職員研修等

①会議

会 議 名	内　容	回数	参 加 者
ケアセンター会議	業務について・研修報告・勉強会 次年度に向けて他	4/年	全スタッフ
デイ職員会議(居宅合同)	次年度に向けて他	8/年	常勤職員
月別行事担当者会議	月間行事の立案・実施計画	12/年	〃
職員会議	施設運営に関すること　報告事項	3/年	〃
施設運営会議	各部署からの提案事項他	12/年	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ主任
給食会議	食事について	12/年	〃
入退所検討委員会	入退所検討	12/年	〃
安全衛生委員会	安全衛生について	12/年	〃
ｻｰﾋﾞｽ担当者会議(居宅介護支援事業所)	デイ利用者の担当ケアマネが開催	45/年	〃

②施設外研修

月.日	研 修 名	内　容	参加者
5.16	H30年度集団指導講習会 「神奈川県」	指定介護保険事業者の 運営について	相談員 (ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ主任)
11.30	県高齢協厚木・愛甲地区 シンポジウム	「おくりびと」	相談員・介護職員
2.8	県高齢協厚木・愛甲地区 VR(認知症体験)	バーチャルリアリティーの体験	〃

③施設内研修

月.日	研 修 名	内　容	参加者
10.16	接遇とは	接遇について	相談員・介護職員
10.19　10.26	愛川BLS講習会	救急蘇生法等について	〃
10.25　11. 1	認知症ケア「ユマニチュード」	認知症ケアについて	〃
3.12	支援に生かすコミュニケーション	コミュニケーションについて	〃

【3】 居宅介護支援センター

1. 支援目標に対しての実施状況

① 利用状況
居宅介護支援専門員3人による居宅サービス計画の作成は、年間1,339件で月平均112件(37件/人)であった。(前年度 1,369件)また、要支援1・2の予防のケアプランは12件であった。

② 支援援助技術を高めるため、地域包括主催の事例検討に各人がそれぞれ1回づつ参加していくという目標に対しては、それぞれが参加することができ事例検討の手法を学び、地域資源と現状を知ることができた。

③ 他事業所と共同で事例検討会を開催する(年1回以上)
他事業所と共同で年2回開催することができた。
地域の一人ケアマネや事例検討をしたことのない事業所に事例検討に参加してもらい、地域ケアマネが一体となって地域支援を取り組むということを、確認できたことは大変有意義であった。
また、この取り組みから「愛川町医療福祉連携推進協議会」の顔合わせを12月に開催し、居宅事業所だけでなく各サービス事業所とも顔の見える関係づくりのスタートをきることができた。

2. 運 営 状 況

(1) ケアプラン作成

月	要介護度					合計	要支援1・2	居宅介護支援各種加算						訪問認定調査
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			初回	入院情報連1	入院情報連2	退院退所	緊急カンファ	看護多機能	
4	37	39	18	17	6	117	1	3	1	0	0			
5	38	39	18	15	6	116	1	3	4	1	2			
6	36	41	18	13	5	113	1	2	0	0	1			
7	39	38	18	13	7	115	1	2	2	0	1		1	
8	38	36	20	14	5	113	1	3	1	0	1			1
9	40	38	18	15	5	116	1	2	1	0	1			
10	40	34	19	14	6	113	1	1	2	0	2			
11	39	33	19	14	6	111	1	1	2	1	0			1
12	37	33	17	11	6	104	1	3	0	0	0			
1	40	34	18	12	7	111	1	4	1	0	1			
2	36	34	17	11	8	106	1	3	3	0	0			
3	37	33	17	11	6	104	1	1	2	0	2			
計	457	432	217	160	73	1,339	12	28	19	2	11		1	2

(2) 契約終了者の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援変更					1			他居	1			自	4
他施設・老健				看		1	1	2			1		6
〃 ・特養		1										1	2
〃 ・有料				GH				1					2
〃 ・病院	3	1	2		3		2		2		4	1	18
転居													
死亡			1			1		1	1	1			5
計	3	2	3	2	4	2	3	5	4	1	5	3	37

＊ 看・・・看護小規模多機能　　他居・・・他居宅介護支援事業所へ　　GH・・・グループホーム　　自・・・自立

(3) 地域ボランティア団体主催介護教室の講師実施状況

講師等	内容	主催
河本	認知症等の家族へのアドバイス他　5、10、12月担当	春日台タウンカフェあい
古江	〃　4、7、11、2月担当	〃

講　師　等	内　容	主 催
山崎	認知症等の家族へのアドバイス他　6、9、1、3月担当	春日台タウンカフェあい

⑷ 研修　・施設外研修

月.日	研　修　名	主　催
7.04	地域包括ケアにおけるケアマネの役割	神奈川県介護支援専門員協会
10	病院ソーシャルワーカーとの連携	東名厚木病院
29	高齢者のオーラルフレイル対策	日本歯科大学みなづき会
20	介護報酬改定ポイントについて	訪問看護STグランシェル
26	在宅医療・介護連携	厚木歯科医師会
9.09	多職種連携	厚愛地区医療連携会議
10.12	在宅医療懇話会	愛川北部病院
26	自己決定支援について	愛川町介護支援専門員協会
11.11	スマイル100歳社会実現について	厚木市
21	支援困難事例について	神奈川県介護支援専門員協会
1.13	医療福祉連携	厚木歯科医師会
30	終末期　人生会議	東海大臨床倫理カンファレンス
2.28	自立支援のケアプランつくり、顔の見える関係リハ職と一緒に作成	東名厚木病院
3.10	迷子にならないための在宅医療連携	厚愛地区医療連携会議
16	愛川町多職種連携	愛川町
28	ケアマネのための認知症高齢者への対応研修	愛川町包括支援センター

・施設内研修

月.日	研　修　名	主　催
6.12	事例検討6/12	居宅介護支援(事)
10.16	接遇とは　(ラポール　三枝施設長の講演)	志田山ホームデイサービス・居宅支援合同
19	愛川BLS研修	志田山ホーム施設内研修
25	認知症ケア　ユマニチュード	志田山ホームデイサービス・居宅支援合同
11.01	〃	
3.12	支援に生かすコミュニケーション	志田山ホーム施設内研修

⑸ 会議

会　議　等	回　数	内　容
① 厚木医療福祉連絡会・ケアマネ部会	2	介護保険に関する情報や研修
② あいかわ介護支援専門員協会	4	町介護保険に関する情報や研修・困難事例の検討
③ 愛川町地域ケア会議	3	町高齢介護課・町包括・在支との情報交換
④ 愛川町からの要請で2つの協議体に参加	2×2名	高齢者に対する生活支援サービスの体制整備に向けた協議体会議と医療福祉連携のための取り組み
⑤ 県社協実務・専門研修　(ファシリテーター)	4×2名	県社協主催　介護支援専門員実務者研修の支援
⑥ 居宅支援会議　概ね週1回		利用者に関する情報、サービス提供にあたっての留意事項等

⑹ 苦情・相談等の状況

件数	相談者	主 な 内 容	対　応
3	本人または家族	デイサービスの事業所を何回も変更している利用者が、最初に利用していた事業所に戻りたいとケアマネに相談した。ケアマネが「そこは、遠くて腰が痛くなるので止めた所ですね」と確認すると、傍にいた長女が言い方が悪いとご立腹された。その場で謝罪したが後にケアマネの交代を希望された。	デイの事業所を変更する理由は本人なりにあるが、変更の際うつ傾向のある他利用者等を誘い一緒に止めるなど事業所にとっても問題の多い方であった。担当ケアマネはその都度対応していたが今回は、本人に確認してからサービスに繋げようとしていた。言い方が、長女の気に障り不快な気分にさせたことを改めて謝罪したが他居宅介護支援(事)へ変更となった。

【4】 在宅介護支援センター

1. 利用状況

半原・三増・小沢・大塚地区の要援護高齢者世帯の訪問による実態把握及び訪問活動は、221件実施した。

2. 主な事業状況

要援護者及び家族に対し在宅介護の相談に応じ、ニーズに対応したサービスが受けられるよう次の事業を行った。

① 各地区の民生委員等や関係機関との連絡調整による要援護者の実態把握
② 相談者に対して、各種保健福祉サービスの紹介や介護保険制度の利用手続きの受付、代行等
③ 相談員の資質向上のため、地域ケア会議や各種外部研修への参加

3. 相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人員		12	10	12	13	3	3	4	6	4	15	2	6	90
月間利用人員		12	12	19	26	14	17	14	16	20	31	17	21	219
月間利用延人員		19	15	29	26	16	23	17	28	20	35	22	24	274
月間訪問利用人数		13	13	17	26	11	13	10	22	20	31	17	21	214
月間訪問利用延人数		13	13	18	26	11	15	11	22	20	32	19	21	221
福祉サービス適用実人数		0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
1日平均利用者人員		0.63	0.48	0.97	0.84	0.52	0.77	0.55	0.93	0.65	1.13	0.75	0.77	0.75
運営協議会開催回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談協力員懇談会開催回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護サービスの相談		2	0	4	0	0	1	0	6	0	3	2	4	22
内訳	面接	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
内訳	電話	1	0	3	0	0	1	0	2	0	0	0	3	10
内訳	訪問	1	0	1	0	0	0	0	3	0	2	2	1	10
内訳	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅福祉サービス相談		3	1	3	0	5	6	4	6	0	2	1	0	31
内訳	面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	電話	3	1	2	0	5	4	2	2	0	2	1	0	22
内訳	訪問	0	0	1	0	0	2	2	4	0	0	0	0	9
内訳	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健・障害サービスの相談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		14	14	22	26	11	16	11	16	20	30	19	20	219
内訳	面接	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
内訳	電話	2	2	6	0	0	3	0	0	0	0	2	0	15
内訳	訪問	12	12	16	26	11	13	8	15	20	30	17	20	200
内訳	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
併設施設における夜間緊急対応		0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5
土・日の対応		1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
介護者教室		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

対象者の年齢別							
40歳代	0	50歳代	0	60歳代	1	70歳代	26
80歳代	41	90歳代以上	13	不明	9	合　計	90

4. 諸会議・研修等

諸　会　議	回数	備　考
① 愛川町地域ケア会議	4	
② 10/18 介護セミナー （打合せ含む）	3	
③ 見守り電話サービス 説明会	1	

月.日	研　修　名	主　催
	10/16接遇 ・10/19愛川BLS研修 ・10/25.11/1 認知症ケアユマニチュード	志田山ホーム
2.08	VR「認知症体験」	高齢協(厚木・愛甲)
3.12	支援に生かすコミュニケーション	志田山ホーム

【5】生計困難者に対する相談支援事業(ライフサポート事業)

地域の援護を必要とする方に対し、関係機関と連携し相談支援活動を行える窓口を設けた。

主な事業状況

1. コミュニティ・ソーシャルワーカーによる総合生活相談活動
2. 援助の必要性がある要援護者に対し、他のサービスに繋がるまで必要な経済的援助

① 利用状況

No.	対象者			相談内容	支援内容
	年代	性別	紹介者		
1	40	男	県・生活困窮者支援担当者より	派遣で仕事をしていたが、仕事がなくなりお金がない。家賃が払えず食べるものがない	困窮状態を確認し取り急ぎ食糧支援をした。 日払いの職業を紹介してもアクションを起こさず、詳細も正直に話さないところがありその先の支援には至らなかった。
2	20	男	町社協	仕事を辞め次の仕事についたがその給料が支給されるまで1か月先になる。 その間3歳・1歳の子供に食べさせるものがない。	県生活困窮者支援に繋ぎ、家計診断と家計が軌道にのるまでの間、食糧支援、家賃支援、自動車税支援を行ったがその後、改善のないまま終了となった。

社会福祉法人愛伸会